

経済競争があれば格差が生まれる

競争すれば勝者と敗者が生まれる。だから仕事でもできるヤツとできないヤツには差が生まれ、稼ぐお金の額にも差が生まれ、

チクショー！（￣□￣＃）

ってなるのはわかるよね（笑）これは個人に限ったことじゃない。市場で争う会社（企業）間の生存競争もめっちゃ激しいんだ。会社は少しでも利益を上げようと、会社同士で組んだり、争ったり、色んな事をしている。そんな会社が「一人勝ち」状態になるのが「独占」と言う状態だ。他のライバル企業が無くなって、自社製品だけが売れば、こんなにオイシイ事は無い（・ロ・）ゲッ！

企業の独占形態

- ・カルテル（企業連合）：同じ産業の企業同士が協定を結んで競争を避ける
- ・トラスト（企業合同）：同じ産業の企業同士が合併して利益を得る
- ・コンツェルン（企業連携）：様々な産業の他社を買収し、支配する



でも、独占状態になると困るのは消費者なんだ。例えばおにぎり。おにぎりを作ってるメーカーが1社の独占状態だったら？って考えてみよう。その会社はライバルがないから大もうけの状態。

お客は「もっと色々な味を出してくれ！」「もっと安くしてくれ！」って色々な要望を出すけど、会社は「だったら食べなければいいんじゃない？」と強気発言（￣□￣＃）

本来ならそういったお客のニーズ（要望）に応えた他のメーカーが安いおにぎりや、新しい味のおにぎりを開発して、他の会社と競うんだけど独占状態だとそれが無いから、結果的に消費者には不利な状況が生まれてしまうんだ（泣）

そこで経済の主体のもう一つである『政府』が経済に介入して、行き過ぎた独占状態を防止する政策を行っているよ。